



# ダウンストリームアロケーションの 実施について

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター  
IP事業部 佐藤香奈枝

## 前回ミーティングより

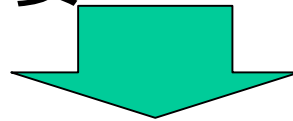
- 実施に当たって検討が必要な課題について、IP-USERS MLで引き続き議論
- 各検討課題が解決され、実施できる段階になったら実施する
- 前回資料「ダウンストリームアロケーション」  
<http://www.nic.ad.jp/ja/materials/ip-users/200212/Downstream-alloc.pdf>

# IP-USERS MLへのご意見

- まずは課金モデルの見直しが必要では

## 要旨

- ダウンストリームアロケーションの実施に当たっては、IP事業の課金制度の見直しとレジストリシステムの変更が必要



中期的な課金制度変更、レジストリシステム構築に併せて実施する

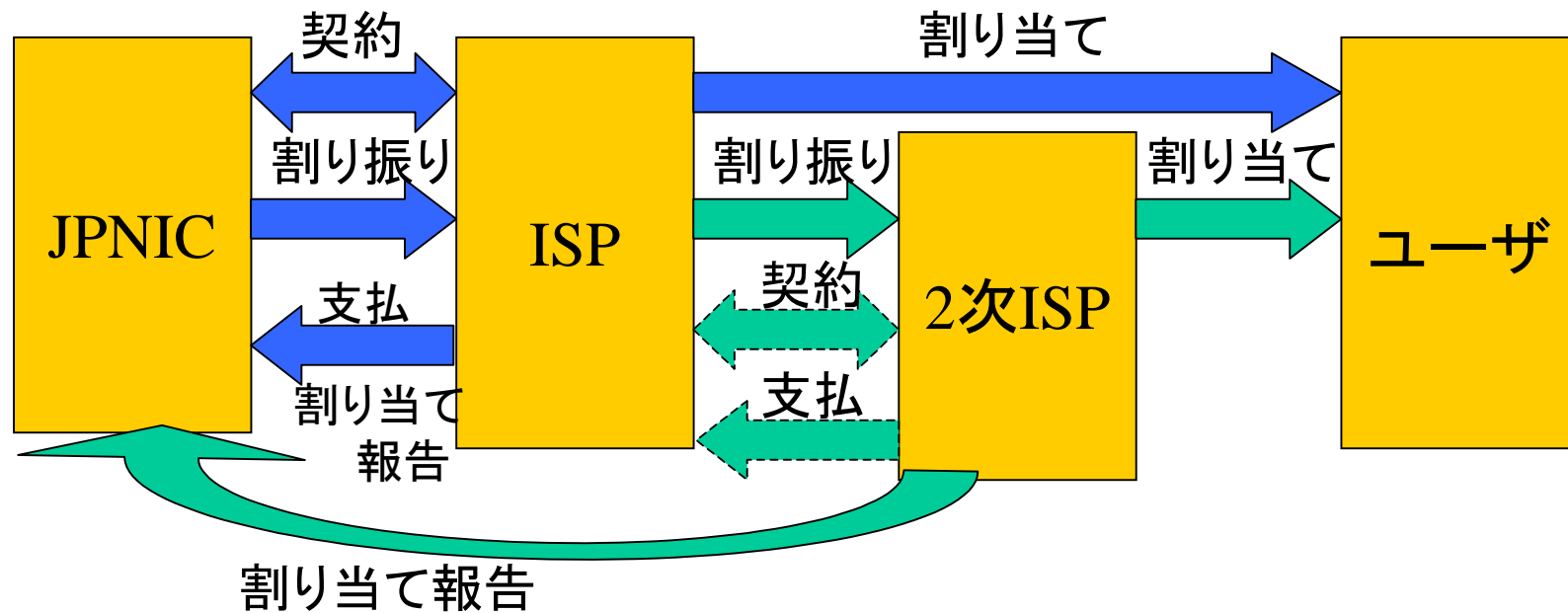
- ダウンストリームアロケーションを実施する場合の目的と望まれるサービスモデルを確認したい

# ダウンストリームアロケーション 実施の目的

- LIR (IP指定事業者) から2次ISPへ業務を委譲できるようになることにより、LIRの選択肢が増え、業務を機動的に行えるようになること
- LIRの業務の効率化

# モデルの検討

- 前述の目的を達成するためには、LIRの責任の下、2次ISPが業務の一部をJPNICへ直接行う



## LIRの業務

- 現在行っている業務はそのまま
- 2次ISPへの割り振りを行えるようになる
  - 割り振りサイズの上限は設けない(LIRの裁量で行う)
- LIRのAWを越える2次ISPへの割り振り、2次ISPからエンドユーザへの割り当てについて、JPNICへ審議申請を行う

## 2次ISPの業務

- 上位のLIRから割り振られたアドレス空間について、JPNICへの申請手続きを行う
  - 申請の種類は「割り当て」「割り当ての返却」「記載事項変更」
  - 「リナンバ」は廃止する方向で検討
  - 2次ISPからユーザへの割り当てサイズの上限等は設けず、LIRの裁量により行う。(ただし、LIRのAWを超える場合にはJPNIC審議)



## 業務システム

- 認証とアクセスコントロールの導入
  - 「LIRとして」「2次ISPとして」の申請
- whoisで割り振り・割り当てを階層的に表示
- LIRが配下の2次ISPの業務を把握できるように、割り当て状況を確認できるようなツールを提供

## 契約と規則

- 指定事業者契約の内容に「2次ISPへの割り振りが行えること」を追加
- 規則の「LIRは再委託禁止」という文言を修正し、もう1階層増やせるようにする
- JPNICと2次ISPとは直接契約をしない

## 課金制度

- ダウンストリームアロケーションがスムーズに導入できるような課金制度
  - 手数料の廃止？

## ご意見

目指すモデルはこれでよいでしょうか。  
ご意見をお寄せください。

